

事業番号	91
------	----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	災害対策関係経費				担当課	防災課	
事業期間	開始年度	～	終了予定年度		担当係	防災係	
総合計画	めざすまちの姿	安全で安心して暮らせるまち					
	目標	自然災害に備える（防災）					
	成果指標	防災意識の啓発や防災対策が十分になされていると感じる市民の割合	中間目標 (H27)	30%	最終目標 (H32)	50%	
予算区分	一般会計	9 款 消防費	1 項 消防費	3 目 災害対策費			
	細事業						
位置づけ	関連計画						
	根拠法令	災害対策基本法					
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象（誰のため）	<input checked="" type="checkbox"/> 全市民 <input type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的（何のため）	防災対策の推進を図る。						
内容（概要）	<ul style="list-style-type: none"> 風水害を想定した水防訓練の実施 市と消防団が協力し、現場での水防活動を通じて今後の水害に備える。 土のう作り 土のう積み訓練 チェーンソーによる倒木除去訓練 備蓄用土のう作り及び格納訓練 水難事故防止監視事業 夏季期間中、白須賀海岸における人命危険に対し、その安全を保持するため海岸をパトロールする。 内容は、旗の取付・遊泳禁止区域での入水者への警告・車乗入禁止区域での違反者への警告・ごみ放置者への注意指導を行う。 						
これまでの改善・見直しの状況	<ul style="list-style-type: none"> 23年度に配備体制を変更し水防対策班を新設したことから、訓練対象職員を水防対策班とする。 23年度から訓練項目にチェーンソーによる倒木除去訓練を追加。 						

2. コスト

（単位：千円）

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費	
事業費	予算	3,068	2,079	1,977	(内訳)	
	決算	1,460	859		物件費(需用費、役務費、委託費等)	703
財源内訳	国庫支出金				維持修繕費(施設の修繕料等)	156
	県支出金	66				859
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,394	859	1,977		
職員人件費	8,555	8,589	8,948	人工	1.1 人	

3. 事業の評価

事業の実施状況

活動指標	内容	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率
	活動指標	水防訓練の実施	回	1	1	1
目標			1	1		
実績						
目標						
実績						

実績・改善	平成23度 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 水防訓練の実施 水難事故防止監視事業委託 				
実績・改善	課題・問題点 となった事項	<ul style="list-style-type: none"> 水防対策班員の知識・技術向上。 水難事故防止監視事業のパトロール要員によるチェック項目の統一化を図る。 				
実績・改善	どう対処したか	<ul style="list-style-type: none"> 水防訓練において、実災害に即した訓練を導入する。 次年度から、海岸のパトロールにおいてチェック項目を明確にする。 				
実績・改善	改善点	<ul style="list-style-type: none"> 風水害による倒木処理に対処するため、チェーンソーによる倒木除去訓練を実施した。 次年度に向けて水難事故防止のチェックリストを作成した。 				効果額 H24-H23 (千円)

自己評価	事業目的の 達成状況	水防訓練、水難事故防止監視事業を予定どおり実施したことで、ほぼ目標は達成できた。				
	※必要性 事業を廃止・休 止したときの影響	<ul style="list-style-type: none"> 風水害時の対応能力の低下により、対応の遅れ及び被害拡大が懸念される。 海岸における水難事故の危険性が高まること、またごみの置き去り等による環境の悪化。 				
	判定	A 継続	より一層の充実を図り実施	事業主体	市	
	判定理由	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策に必要な事業として継続的に実施する必要がある。 現状における事業内容を検証し、より効果的な事業実施を推進する。 				
自己評価	今後の方向性	水防訓練、夏季の海岸パトロール等、今後も継続的に実施し災害に備える。				